

令和4年度座間市立小・中学校の教育環境に関するアンケート 概要版

目次

調査概要	1
通学時間・望ましい通学時間の許容範囲（小学生）	2
通学時間・望ましい通学時間の許容範囲（中学生）	3
1学級あたり望ましい人数とその理由（小学校）	4
1学年あたり望ましい学級数とその理由（小学校）	5
1学級あたり望ましい人数とその理由（中学校）	6
1学年あたり望ましい学級数とその理由（中学校）	7
学区設定で重要だと思う項目	8
これからの学校教育で重要だと思うもの	9
これからの学校施設で重要だと思う機能	10
将来的に授業で使用するプール施設について重要だと思うもの	11
将来的な小学校給食の提供について重要だと思うもの	12
将来的な中学校給食のあり方	13

調査概要

○ 調査対象

- ・保護者 : 座間市立小学校・中学校の保護者
- ・教職員 : 市立小学校／市立中学校教職員
- ・地域 : 学校運営協議会委員
- ・未就学児保護者 : 座間市内の公立保育園・私立保育園・私立幼稚園の保護者

○ 調査期間

- ・保護者・教職員 : 令和4年10月31日～11月20日
- ・地域 : 令和4年10月28日～11月20日
- ・未就学児保護者 : 令和4年10月28日～11月20日

○ 調査方法

- ・保護者・教職員 : オンライン調査（LINEによる一斉配信）
- ・地域 : オンライン調査（紙チラシ記載のQRコード読み込み。一部紙）
- ・未就学児保護者 : オンライン調査（紙チラシ記載のQRコード読み込み）

○ 回収状況

	対象者	回収数	回収率
保護者	9,169件	1,540件	16.8%
教職員	660件	286件	43.3%
地域	148件	87件	58.8%
未就学児	3,190件	565件	17.7%

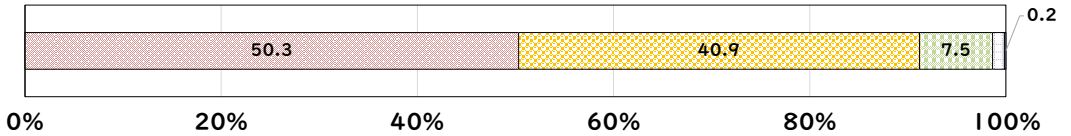
通学時間・望ましい通学時間の許容範囲（小学生）

【小学生】

n = 1,248

□ (1) 15分未満 □ (2) 15分～30分 □ (3) 30分～45分 □ (4) 45分～60分 □ (5) 60分以上

実際の通学時間



望ましい通学時間

□ (1) 15分未満 □ (2) 15分～30分 □ (3) 30分～45分 □ (4) 45分～60分 □ (5) 60分以上

n = 1,248

保護者



教職員



地域



未就学児保護者

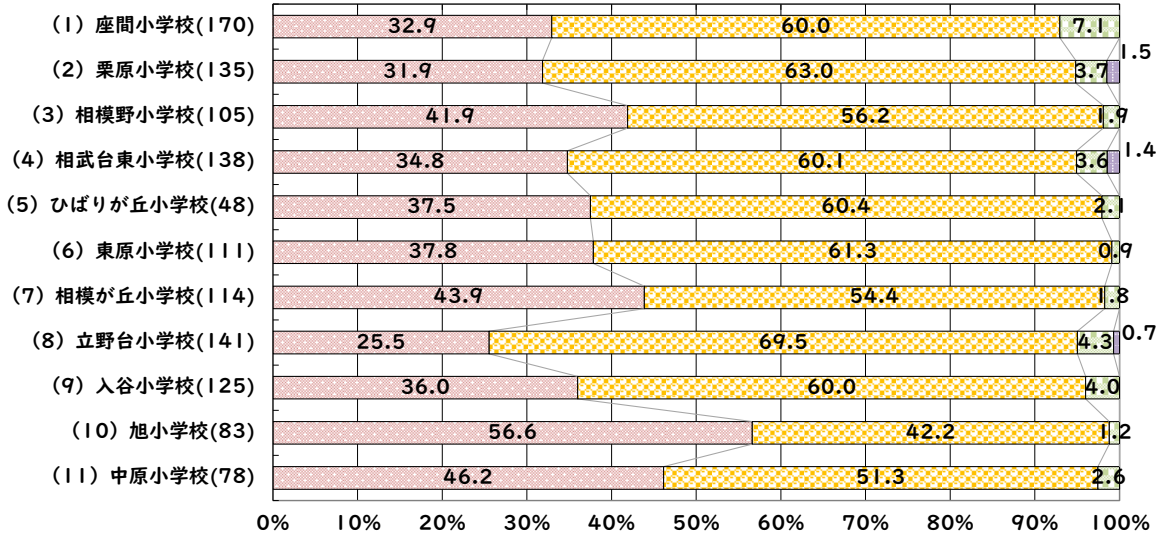


望ましい通学時間

(学校別)

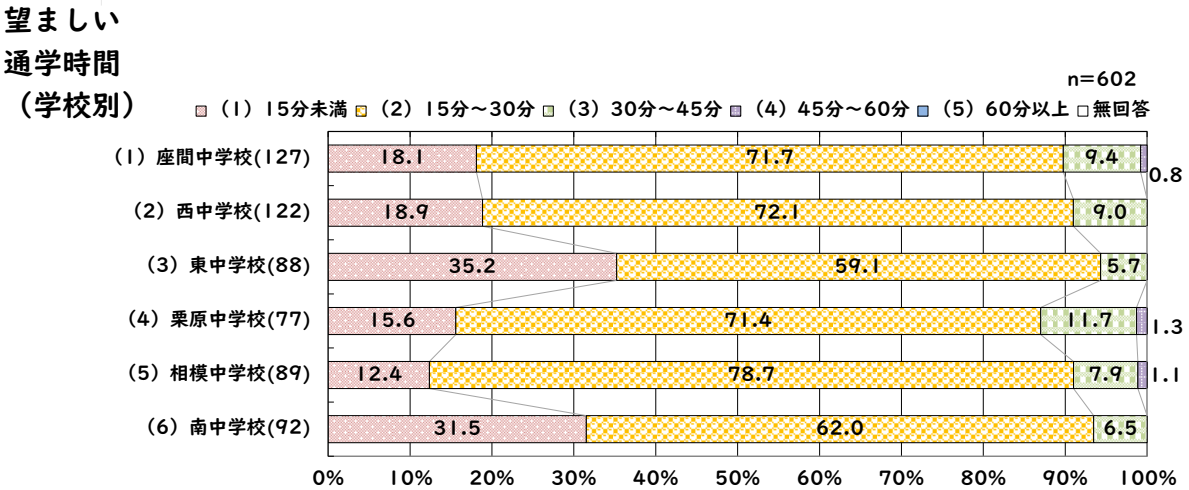
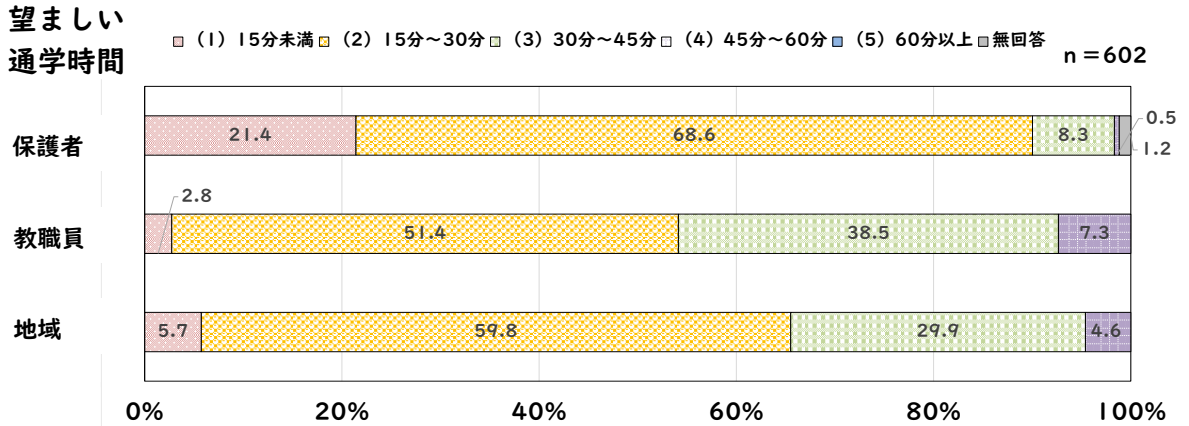
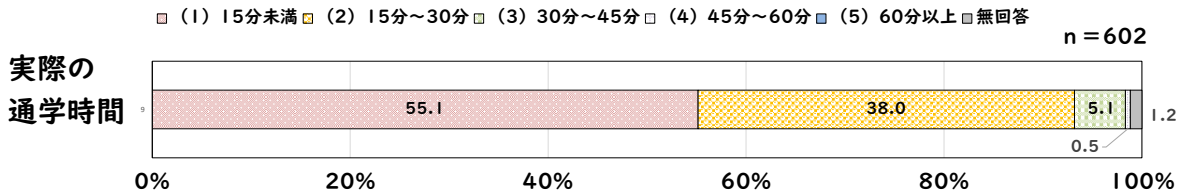
n = 1,248

□ (1) 15分未満 □ (2) 15分～30分 □ (3) 30分～45分 □ (4) 45分～60分 □ (5) 60分以上



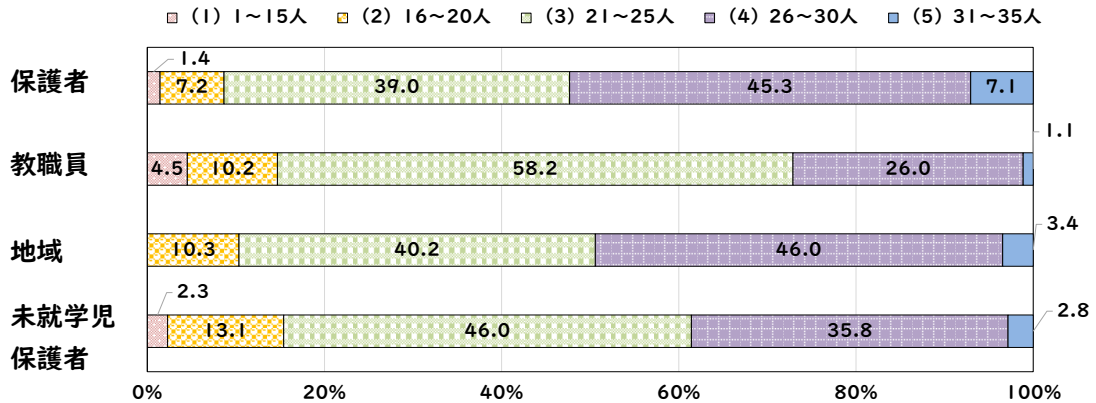
- 小学生の通学時間は、半数以上の50.3%が「15分未満」、91.2%が「30分未満」となっている。
- 一方で「望ましい通学時間」は、小学校については未就学児保護者を除いて、現在よりもやや長くなる児童を含む、「15～30分」がおよそ6割を占めている。
- また、教職員の回答では、19.2%が「30～45分」となり、2番目に多くなっている。
- 小学校区別では、旭小学校のみ、「15分未満」が最も多くなっている。
- 通学距離の長い地域のある座間小や栗原小、東原小でも他校との大きな差はない。

通学時間・望ましい通学時間の許容範囲（中学生）



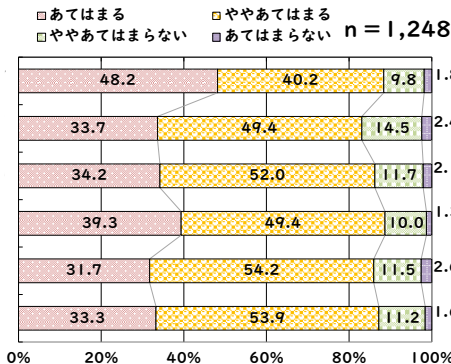
- ・ 中学生の通学時間は、55.1%が「15分未満」、93.1%が「30分未満」となっている。
- ・ 一方で「望ましい通学時間」は、中学校についてはすべての属性で、現在よりもやや長くなる生徒を含む、「15～30分」がおよそ6割を占めている。
- ・ 教職員や地域の回答では、「30～45分」を望ましいとする回答が2番目に多い一方で、保護者は、90%以上が「30分未満」を望ましいとしている。

1学級あたり望ましい人数とその理由（小学校）

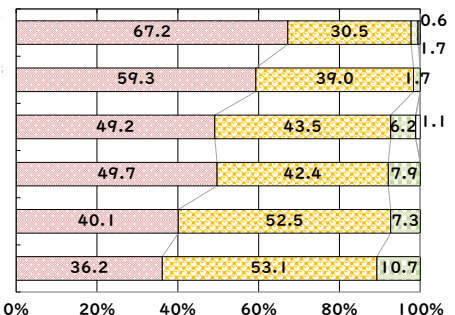


・保護者

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる
- (3) 子どもたちの人間関係が深まりやすい
- (4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる
- (5) 集団の中で切磋琢磨することができる
- (6) 多様な価値観に触れることができる

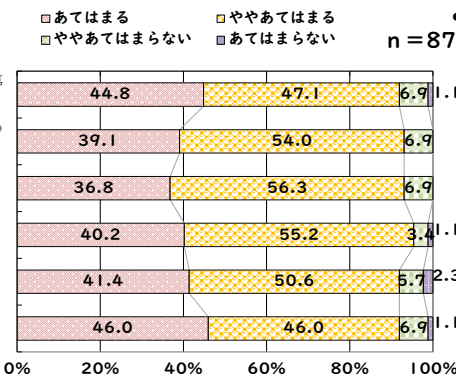


・教職員

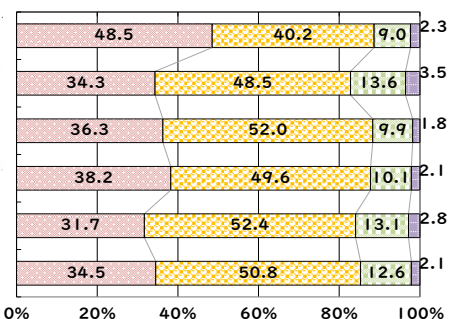


・地域

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる
- (3) 子どもたちの人間関係が深まりやすい
- (4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる
- (5) 集団の中で切磋琢磨することができる
- (6) 多様な価値観に触れることができる



・未就学児保護者



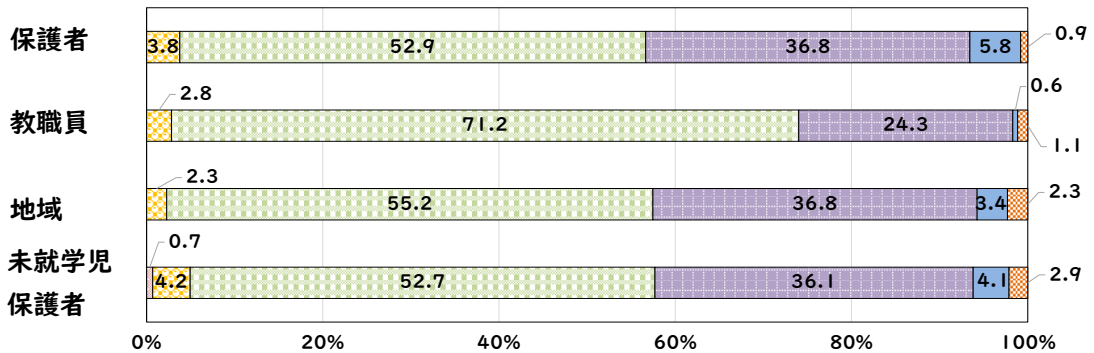
【自由回答より】

- ・現在の学級編成では、担任の負担が大きいと思うため。【保護者】
- ・学校とは学業を学ぶ場ですが、集団生活の基礎、社会を学んでほしいと思います。少ない人数ですと集団生活は理解できないですし、多すぎても個々の意見がまとまりにくいと思います。【保護者】
- ・給食当番や、掃除当番、係り活動、委員会などを分担するのに、適度な人数だと思うから。【保護者】
- ・障害や特性のある児童が増えており、児童数を少なくすることが担任の負担軽減につながる。【教職員】
- ・個別指導がより必要な低学年は、1学級あたり25人以下でもよい。【教職員】
- ・少なすぎず多すぎない人数の方が様々な経験が出来ると思うから。【未就学児保護者】

・小学校1学級あたりの望ましい児童数は、保護者・地域は1学級あたり「26~30人」を望ましいとしている。一方、教職員および未就学児保護者は、「21~25人」の学級を望ましいとしている。

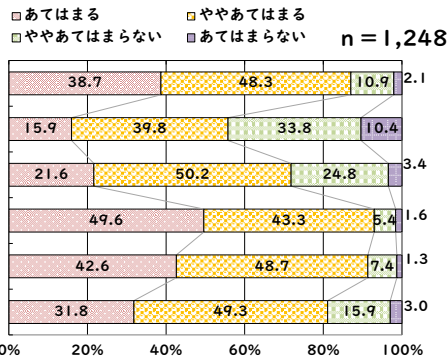
1 学年あたり望ましい学級数とその理由（小学校）

□ (1) 1学級 □ (2) 2学級 □ (3) 3学級 □ (4) 4学級 □ (5) 5学級 □ (6) 6学級以上

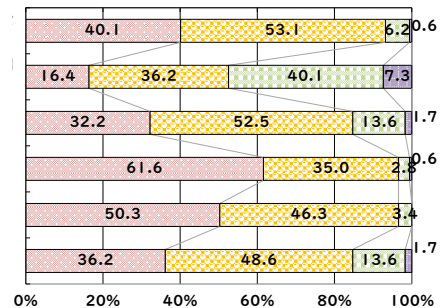


・保護者

- 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- クラスのメンバーが固定され、子どもたちの人間関係が深まりやすい
- 学年を超えた交流・行事ができる
- クラス替えができる
- 多様な価値観に触れる機会がある
- クラブ活動などの選択の幅が広がる

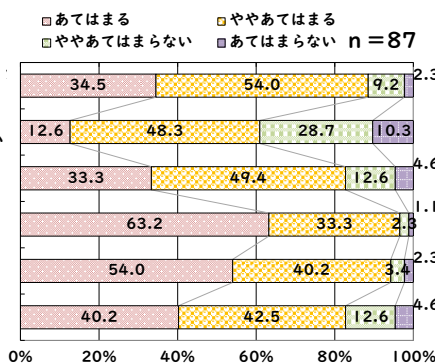


・教職員

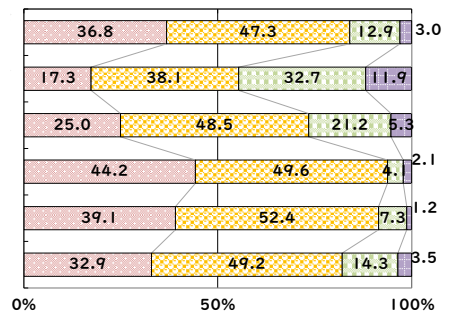


・地域

- 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- クラスのメンバーが固定され、子どもたちの人間関係が深まりやすい
- 学年を超えた交流・行事ができる
- クラス替えができる
- 多様な価値観に触れる機会がある
- クラブ活動などの選択の幅が広がる



・未就学児童保護者



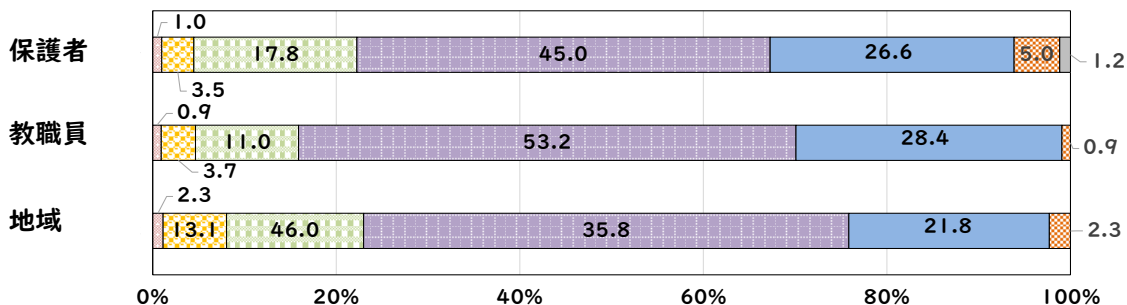
【自由回答より】

- 今は過保護になりすぎてるため、集団の中で揉まれた方が良いかと考えます。【保護者】
- クラス間での競争を促しやすい。【保護者】
- 担任の数が多ければ、様々な意見交換ができ、より良い学年になると考えたから。【保護者】
- 現在の2クラスは関係が濃い。中学は他校からの生徒の方が多いため、環境の変化が心配。【保護者】
- 教師の校務分掌の負担を考えると、3クラスあって欲しい。【教職員】
- 学級数が少なすぎると、合わない子やいじめなどがあつたときにクラスを離すことができない。【地域】
- ひとクラスの人数を少なくして、クラス数を多くして良いと思います。ただ、たとえば芸術授業や体育などは、2、3クラス合同などでも良いと思います。【未就学児保護者】

- 1学年あたりの望ましい学級数は、すべての属性において「3学級」が望ましいとする回答が過半数を占めている。次いで多いのは「4学級」であり、3学級および4学級の合計は、すべての属性で9割を超えていることから、「3~4学級の編成が望ましい」と考えられているといえる。
- 理由として、クラス替えができることと、多様な価値観に触れる機会があることが挙げられる。

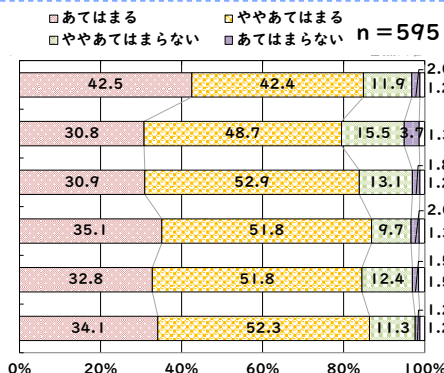
1学級あたり望ましい人数とその理由（中学校）

- (1) 1～15人 □ (2) 16～20人 □ (3) 21～25人 □ (4) 26～30人
- (5) 31～35人 □ (6) 36～40人 □ 無回答

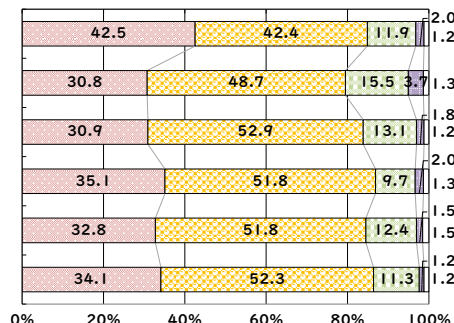


・保護者

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる
- (3) 子どもたちの人間関係が深まりやすい
- (4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる
- (5) 集団の中で切磋琢磨することができる
- (6) 多様な価値観に触れることができる

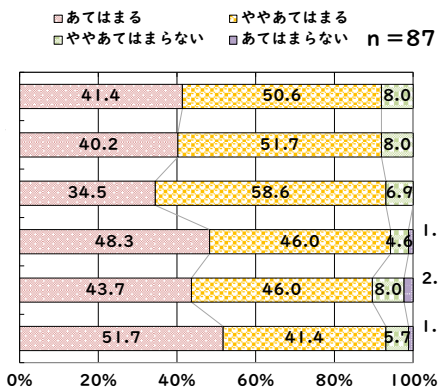


・教職員



・地域

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる
- (3) 子どもたちの人間関係が深まりやすい
- (4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる
- (5) 集団の中で切磋琢磨することができる
- (6) 多様な価値観に触れることができる



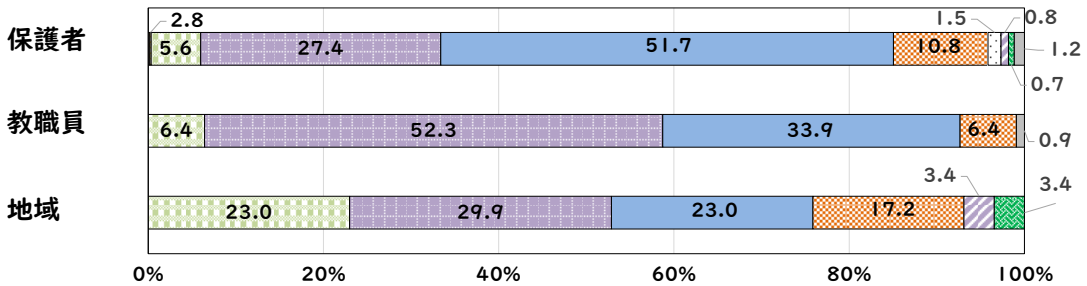
【自由回答より】

- ・ 先生が目が一人一人に向きフォローが期待できると思う。現在、教科担任制でクラスの生徒人数も多いので揉め事なども気づいてくれないのでかなり不満がある。【保護者】
- ・ 先生の業務が多いので、受け持つ生徒数を減らして欲しい。その方が先生から子どもへの目も行き届くように思う。【保護者】
- ・ 教室の広さ、密度、ロッカーなどの備品利用に無理がない。【教職員】
- ・ 少なすぎても人間関係の難しさが出てくる。【教職員】
- ・ 多すぎると関わりを持ちにくい。【教職員】
- ・ 1クラスの人数は少なすぎても集団活動にはならないと思うので、適度に人数は必要と思う。【地域】

・ 中学校の1学級あたりの望ましい生徒数は、「26～30人」とする回答が全属性で最も多かった。小学校の児童数との違いでは、2番目に多いのが「31～35人」が全属性で20%台となっており、中学生の場合には小学生と比べて、ある程度大きい学級規模でいいという回答結果になっている。

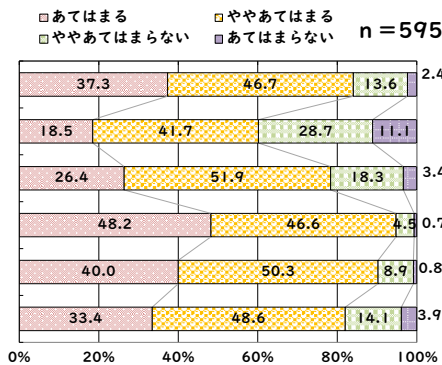
1 学年あたり望ましい学級数とその理由（中学校）

(1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級 (5) 5学級
 (6) 6学級 (7) 7学級 (8) 8学級 (9) 9学級以上 無回答

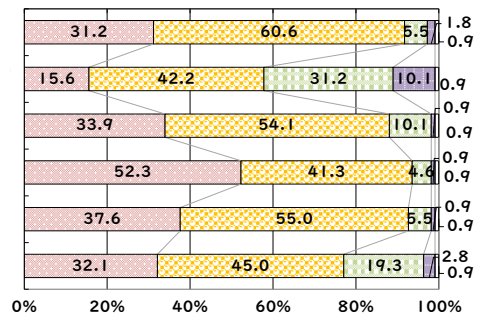


・ 保護者

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) クラスのメンバーが固定され子供たちの人間関係が深まりやすい
- (3) 学年を超えた交流・行事ができる
- (4) クラス替えができる
- (5) 多様な価値観に触れる機会がある
- (6) クラブ活動などの選択の幅が広がる

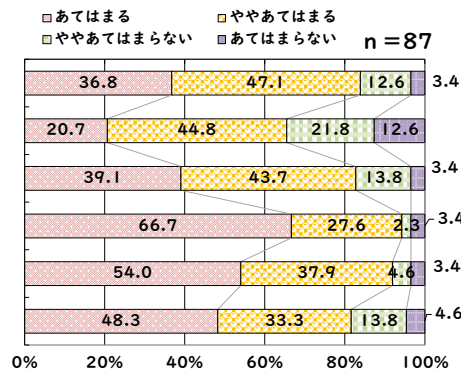


・ 教職員



・ 地域

- (1) 一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導が受けられる
- (2) クラスのメンバーが固定され子供たちの人間関係が深まりやすい
- (3) 学年を超えた交流・行事ができる
- (4) クラス替えができる
- (5) 多様な価値観に触れる機会がある
- (6) クラブ活動などの選択の幅が広がる



【自由回答より】

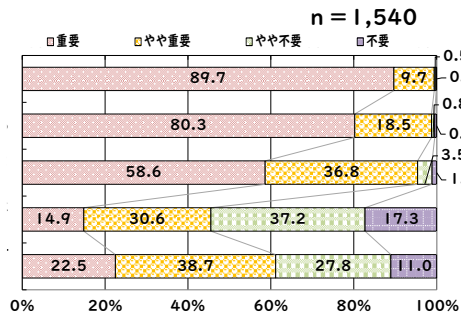
- うるさい子をばらけさせるため。つまないと行動できない子も1人で行動出来るようになると思ったから。【保護者】
- 小クラス制で学級が増えれば、それだけ大人の目も増え、一番多感な時期の出会いが増える。【保護者】
- 自分の学習の程度について、母数が大きい方が正確に把握しやすいから。【保護者】
- 学年の学級数が少な過ぎると人間関係でトラブルが起きた時に、クラス替えしづらい。【教職員】
- 学級数よりは1クラスの人数の方が重要と考えるので、1クラス30人以下になるなら学級数が増えてもいいと思う。【地域】

- 中学校の1学年あたりの望ましい学級数は、保護者と教職員で回答が異なり、保護者は過半数が「5学級」を望ましいとしているのに対して、教職員は過半数が「4学級」を望ましいとしている。ただし、保護者と教職員のおおよそ8割が「4~5学級」を望ましい学級と考えていると判断することもできる。
- なお、すべての属性で「(4) クラス替えができる」を理由として高い割合で挙げている。

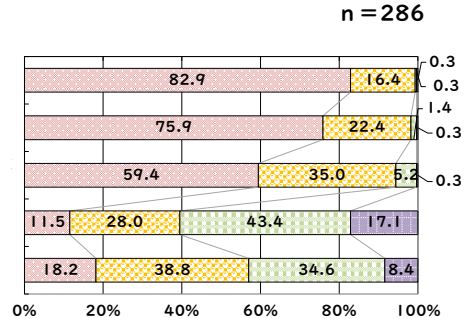
学区設定で重要だと思う項目

・保護者

- (1) 安全・安心な通学路・通学手段で通学できるようにする
- (2) 適正な距離・時間で通学できるようにする
- (3) 学校生活を送るうえで、望ましい学級数や人数となるよう考える
- (4) 1つの小学校からは1つの中学校に通えるようにする
- (5) 1つの地域が複数の学区に分かれないようにする

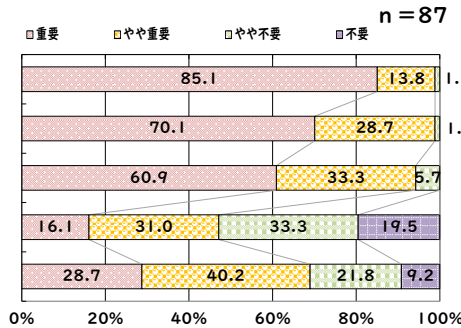


・教職員

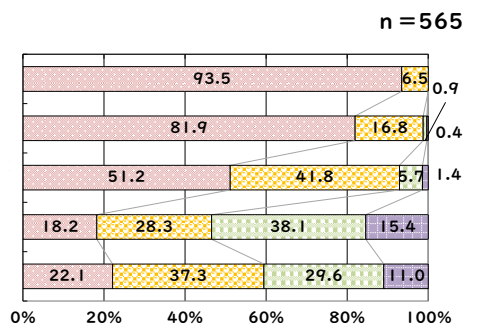


・地域

- (1) 安全・安心な通学路・通学手段で通学できるようにする
- (2) 適正な距離・時間で通学できるようにする
- (3) 学校生活を送るうえで、望ましい学級数や人数となるよう考える
- (4) 1つの小学校からは1つの中学校に通えるようにする
- (5) 1つの地域が複数の学区に分かれないようにする



・未就学児保護者



【自由回答より】

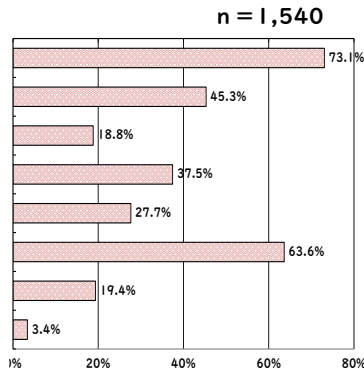
- ・今は個々が個性を大切に作る時代。合う合わないの相性があるので強制的に小学校から中学も同じにする必要はないと思います。【保護者】
- ・同じような距離で2箇所の小学校中学校がある場合は、家庭によって判断してどちらかを選択できるようにしてほしい。【保護者】
- ・登校班や通学コースに関しては、柔軟に対応できると良いと思います。【保護者】
- ・指定校と指定校外で対応に格差があるのは困る。特に、自閉症など(スペクトラムも含む)の子供を持つ親からすると、小学校では対応できたが、中学は出来ないとか。【保護者】
- ・希望があれば、市内のどの中学校に行っても良いことにしたいと思う。【教職員】
- ・小学校は、交通量の多い道路をなるべく渡らない学区分けを望む。【未就学児保護者】
- ・安全に通学できることは当然の大前提として考えるべき。小学校で言えば、6年生の体力ではなく、1年生の体力に合わせて距離の設定をすべき。【未就学児保護者】

- ・「(1) 安心・安全な通学路」や「(2) 適正な距離・通学時間」、「(3) 学校生活を送る上で望ましい人数や学級数」については、すべての属性において「重要」と「やや重要」の合計が9割を超えている。
- ・一方で、「(4) 一つの小学校からは一つの中学校に通えるようにする」については、すべての属性で半数以上の方が「やや不要」「不要」と考えており、小中学校区の一致は必ずしも求められていないことがわかる。ただし、「(5) 一つの地域が複数の学区に分かれないようにする」は保護者・地域・未就学児保護者の7割が「重要」「やや重要」と考えていることから、小学校からの進学先が2校に分かれる場合には、地域内に境界線を設けない形であれば理解されやすいと考えられる。
- ・このほか、自由回答からは、学区境界付近に住む保護者・未就学児保護者からの区域外就学や登校班に関する意見、交通量の多い通学路に対する要望などが挙げられた。

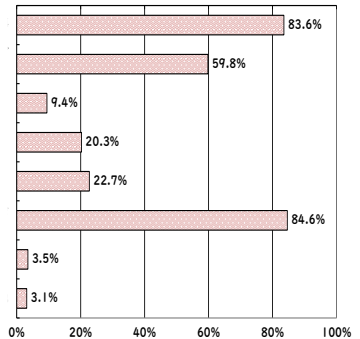
これからの学校教育で重要だと思うもの

・保護者

- (1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導
- (2) グループに分かれて話し合ったり、他のグループと意見を交換したりする学習
- (3) 競争意識をもって学力や運動能力を高めあうことができる環境
- (4) たくさんの友達ができること
- (5) 学年を超えた交流や行事が多いこと
- (6) 集団の中で主体性や協調性を身につける機会が多いこと
- (7) クラブ活動などの選択の幅が広いこと
- (8) その他

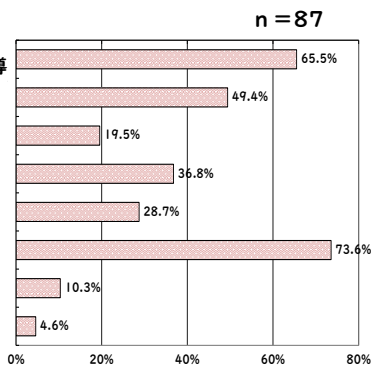


・教職員

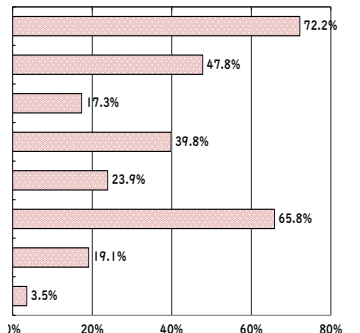


・地域

- (1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導
- (2) グループに分かれて話し合ったり、他のグループと意見を交換したりする学習
- (3) 競争意識をもって学力や運動能力を高めあうことができる環境
- (4) たくさんの友達ができること
- (5) 学年を超えた交流や行事が多いこと
- (6) 集団の中で主体性や協調性を身につける機会が多いこと
- (7) クラブ活動などの選択の幅が広いこと
- (8) その他



・未就学児保護者



【自由回答より】

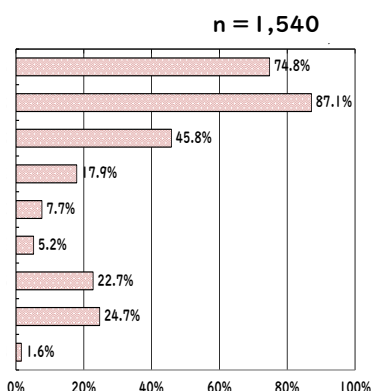
- ・ 学校へ行くことの選択ができない子ども(不登校)への居場所や先生の意識を変えること。【保護者】
- ・ 色々な国の生徒、保護者がいるので、英語教育や国際教育に繋げて欲しい。【保護者】
- ・ 特別支援の先生や助働員を増やしてほしい。重度の子や一年生などがいると先生が足りなくて支援が受けられない。【保護者】
- ・ 発達障害グレーゾーンや、HSC（人一倍敏感な子）など、生きづらさ、疲れやすさを抱えている子が理解され、それぞれのペースで生活しやすい環境。【保護者】
- ・ 学校へ通う意味を見つけれない児童や保護者が増え、不登校児が年々増加しています。学校での居場所づくりや必要とされる環境づくりを急務で行わなくてはいけないと思います。【教職員】
- ・ 共生社会の実現をめざして、すべての人の多様性が尊重され、誰もが大切にされ、誰もが成長できるインクルーシブな学校づくり。【地域】
- ・ 小学生でも携帯電話を持っている割合が今後はどんどん増えていくように思うので、ネットとどう付き合っていくべきか、学んでほしい。【未就学児保護者】

- ・ これからの学校教育で重要だと思うものとしては、「(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」、「(6) 集団の中で主体性や協調性を身につける機会が多いこと」の2つの項目が、すべての属性において「重要」と「やや重要」の合計が9割を超えている。
- ・ 特に、(1)に関連する事柄として、自由回答では発達障害等へのきめ細かな対応の要望や、不登校や校内での「子どもの居場所」の問題への取り組み、外国に繋がりのある子どもへの対応など、支援やサポートが必要となる子どもを取り残さないためのキーワードが目立った。
- ・ また、未就学児保護者ではICT教育についての要望が、自由回答において多く見受けられた。

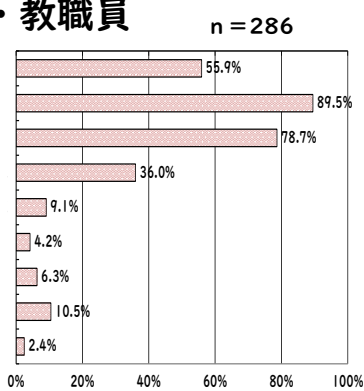
これからの学校施設で重要だと思う機能

・保護者

- (1) 防災・防犯機能の強化
- (2) 児童生徒が快適に学習できる環境
- (3) 教職員が快適に働くことができる環境
- (4) バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
- (5) 環境への配慮
- (6) 地域の方が使うことができるスペースの充実
- (7) 避難所機能の強化
- (8) 子育て支援機能との複合化
- (9) その他

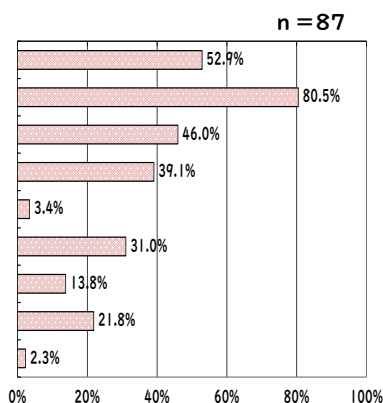


・教職員

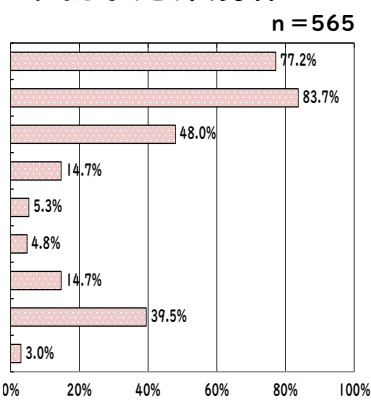


・地域

- (1) 防災・防犯機能の強化
- (2) 児童生徒が快適に学習できる環境
- (3) 教職員が快適に働くことができる環境
- (4) バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
- (5) 環境への配慮
- (6) 地域の方が使うことができるスペースの充実
- (7) 避難所機能の強化
- (8) 子育て支援機能との複合化
- (9) その他



・未就学児保護者



【自由回答より】

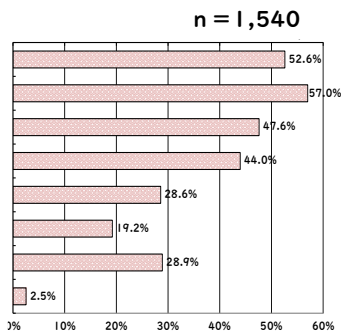
- ・ ソーラーパネルの設置や体育館の空調設備の充実、網戸の設置も検討して欲しい。【保護者】
- ・ 児童ホームの併設、希望者を全員受け入れられる教室数の確保。【保護者】
- ・ 校門に事務員、警備員（シルバーさん等）配備して欲しい。現状では誰でも侵入可能。【保護者】
- ・ トイレを綺麗にして欲しい。【保護者】
- ・ 学校の職員数が足りていないのが本当に厳しい。【教職員】
- ・ 余裕のある施設（予算、部屋数、備品等）。【教職員】
- ・ 多機能性(子どもが減ってしまったら、コミセンのように使用したり、学習できるエリアになったり、老若男女趣味を活かせるエリアになったりする自由なフロアを作っていく方が活性化されるのではないと思う)。【地域】
- ・ 学校機能だけではなく、公共施設としての機能を持たせてほしい。例えば、介護施設や地域の活動場所と学校など、ただの箱物を作るのではなく、多数の機能や役割を持たせてほしい。【未就学児保護者】
- ・ 学校内に児童ホームを設置してほしい。【未就学児保護者】

- ・ これからの学校施設で重要だと思うものとしては、「(2) 児童生徒が快適に学習できる環境」がすべての属性で8割を超えているほか、「(1) 防災・防犯機能の強化」も5割を超えている。
- ・ 属性ごとの特徴としては、「(3) 教職員が快適に働くことができる環境」において、教職員とそれ以外の属性との間で大きな開きがある。また、未就学児保護者において子育て支援機能との複合化が高いポイントとなっているが、自由回答欄より児童ホームの充実に対する要望が多いことがわかる。
- ・ このほか、設備としてはトイレに関する要望が多く挙げられている。

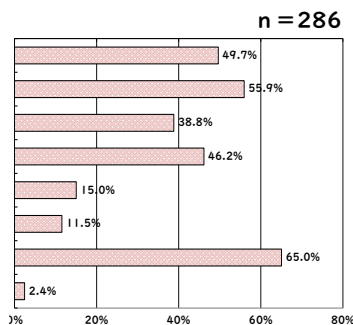
将来的に授業で使用するプール施設について重要だと思うもの

・保護者

- (1) プールまでの移動時間が短い
- (2) 天候等に左右されず、計画通りに実施できる
- (3) 季節を問わず、年間を通して快適な室温、水温で実施できる
- (4) 水泳の専門的指導者からの指導を受けられる
- (5) 授業を見学する児童生徒の環境への配慮(日差し、気温等)
- (6) 感染症対策が取りやすい
- (7) プールの管理(水質管理・清掃等)について学校の負担が少ない
- (8) その他

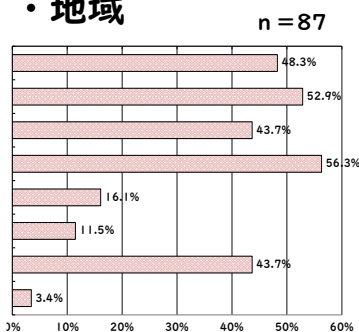


・教職員

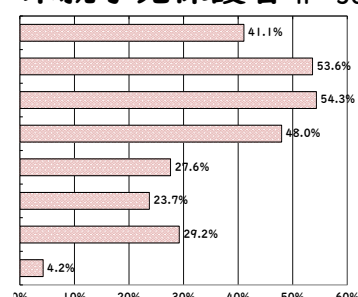


・地域

- (1) プールまでの移動時間が短い
- (2) 天候等に左右されず、計画通りに実施できる
- (3) 季節を問わず、年間を通して快適な室温、水温で実施できる
- (4) 水泳の専門的指導者からの指導を受けられる
- (5) 授業を見学する児童生徒の環境への配慮(日差し、気温等)
- (6) 感染症対策が取りやすい
- (7) プールの管理(水質管理・清掃等)について学校の負担が少ない
- (8) その他



・未就学児保護者 n = 565



【自由回答より】

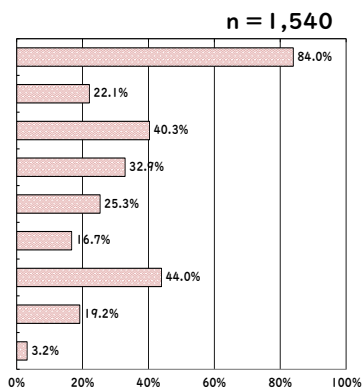
- ・ 年間を通じて使える施設として設計しなおした方が良い。【保護者】
- ・ 民間のプール施設を利用させていただくのもありかと思います。【保護者】
- ・ とにかく回数をもっとプールの授業を増やしてあげてほしいです。今年は全部で2回しかありませんでした。【保護者】
- ・ 学校の授業でプールの必要性を感じない。【保護者】
- ・ プールの授業のために暑い中、片道15分近くかけて歩いて行くのはどうなのか？プールに入っている時間より、移動、準備に時間がかかるのはおかしいと思う。【保護者】
- ・ 将来的に考えれば、指導側が専門的である必要がある。また、時間もないため指導になっていない。【教職員】
- ・ 今まで通りのプール指導の回数程度なのであれば、泳げない子が泳げるようになるわけではないので、水に対する基本的な指導が必要であると思う。【地域】
- ・ 夏休みなどにスポーツ少年団など水泳指導の機会が欲しい。【未就学児保護者】

- ・ プール施設について重要だと思うものについては、保護者からは「(2) 天候等に左右されず、計画通りに実施できること」が最も多い回答となり、次いで「(1) プールまでの移動時間が短いこと」が要望されている。
- ・ 属性ごとの特徴としては、教職員において「(7) プールの管理(水質管理・清掃等)について学校の負担が少ないこと」という回答が最も多く、プール管理が学校の負担になっているといえる。
- ・ 自由回答では、屋内プールの利用や民間施設(スイミングスクール等)の活用、座間市立学校の水泳授業の回数が少ないというご意見や、徒歩移動の解消、専門的な指導者による授業実施の要望などが複数挙げられている。

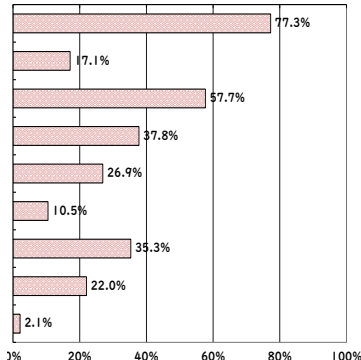
将来的な小学校給食の提供について重要だと思うもの

・保護者

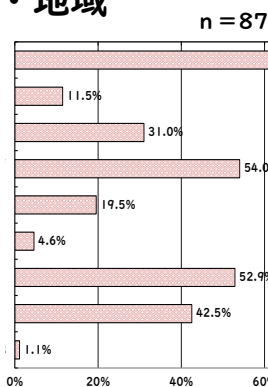
- (1) 温かい給食を提供できること
- (2) 調理過程が身近に感じられること
- (3) 児童生徒が運搬や配膳しやすいこと
- (4) 地場産食材を活用すること
(小学校給食では県内で上位の使用率)
- (5) 給食費が安いこと
- (6) 給食費が高くなってでもより品質に
こだわった食材を使用すること
- (7) 食育や食文化への関心を高めること
- (8) アレルギーなどの理由で標準食が
食べられないことへの配慮
- (9) その他



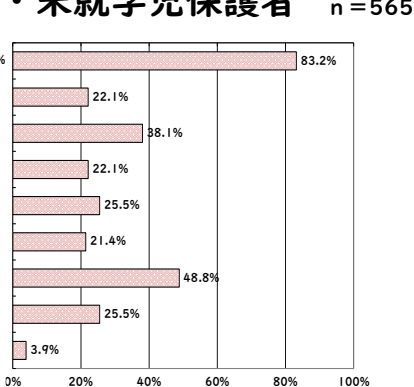
・教職員



・地域



・未就学児保護者



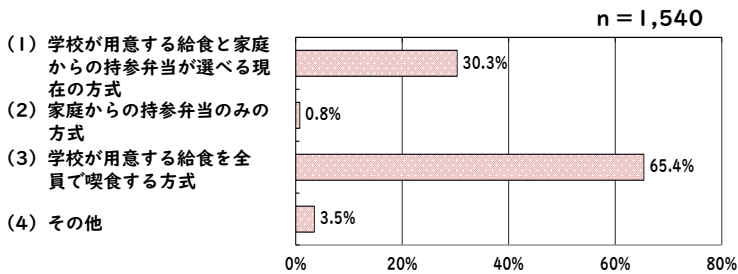
【自由回答より】

- ・ 栄養バランス、給食でしかまともに栄養を取れない家庭は少なくないと思う。【保護者】
- ・ 食べる時間が短いので、給食室まで取りにいかず、教室前まで運んで欲しい。【保護者】
- ・ 食品添加物や無農薬など、材料にこだわり安全な給食を提供してほしい。【保護者】
- ・ 現状維持で問題ないと思います。【保護者】
- ・ どのような家庭環境の生徒でも、安心安全な食材の給食が食べられるよう、給食費無償化する。【保護者】
- ・ 調理場の快適な労働環境【教職員】
- ・ 座間市の自校給食の評価は高いと伺っています。ぜひ、継続していただきたいです。【地域】
- ・ 地場産食材はもちろん活用していただきたいですが、なるべく国産食材を使用してほしい。【未就学児保護者】

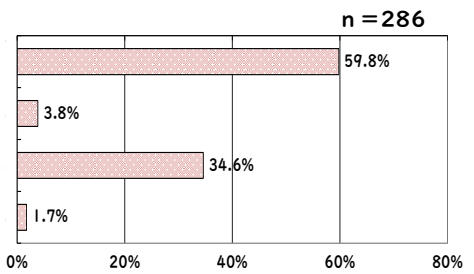
- ・ 小学校給食のあり方において重要だと思うものについては、「(1) 温かい給食を提供できること」がすべての属性で75%以上となっている。次いで、「(7) 食育や食文化への関心」や、「(4) 地場産食材の使用」など給食が児童を育む要素への回答が多い。属性別の特徴では、教職員では「(3) 児童生徒が運搬や配膳しやすいこと」が57.7%と高くなっている。
- ・ 自由回答では、現在の小学校給食への肯定的な回答が多いほか、安心・安全な食材の使用や、栄養バランスの取れた食事の提供の希望が広く見られる。ほかに、給食調理場の環境改善についての指摘、家庭等に困難を抱える子どもへの配慮、給食費無償化の要望などがあつた。改善検討では、給食時間の短さへの指摘が複数挙げられている。

将来的な中学校給食のあり方

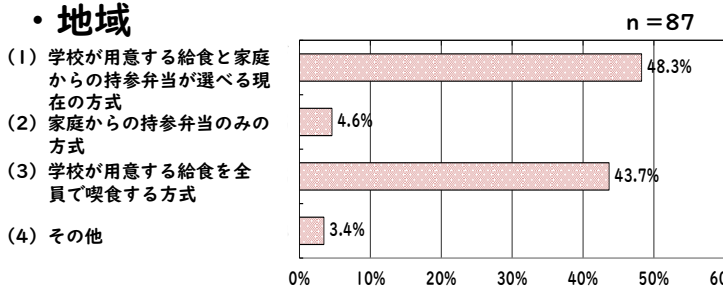
・保護者



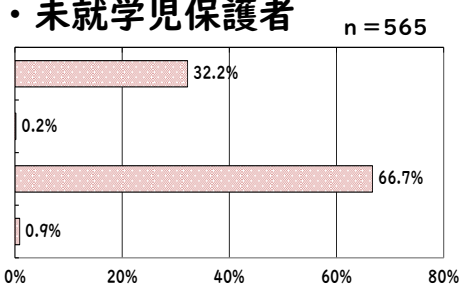
・教職員



・地域



・未就学児保護者



【自由回答より】

- ・ 給食はぜひお願いしたいです。共働き世代には、弁当を毎日作るのは負担が大きすぎます。【保護者】
- ・ 小学校の様な温かい給食希望(自校給食、センター方式どちらでも良い)業者からのケータリング式も視野に入れてほしい。【保護者】
- ・ 虐待や貧困で食事が取れない子の為に家庭からの弁当持参を廃止へ。全給食で対応。【保護者】
- ・ 弁当給食どちらでもいいが、持参弁当をするのであれば食べる前に温める配慮や食中毒防止のための保管庫(冷蔵庫)の完備など給食の子と平等になる配慮が欲しい。【保護者】
- ・ 「小学校ではおかわり出来てお腹いっぱい食べられて幸せだった」という話を聞く度に、切ない気持ちになるので(3)の様になるといいなあと思います。【教職員】
- ・ お弁当を利用したいと思いますが、まずシステムがややこしく、不味いという声が多い。【地域】
- ・ 働いてる家庭が増えているので中学も給食があったら大変助かります。しかし、費用の面で設備投資が座間市は難しいと思いますので、お弁当だとしても、こどもがおいしく食べられるものの提供があればいいかと思います。【未就学児保護者】

- ・ 将来の中学校給食のあり方において最も良いと考える給食の形態については、保護者・教職員・地域・未就学児保護者の回答が大きく分かれた。
- ・ 保護者は、「(3) 学校が用意する給食を全員で喫食する方式」の希望が65.4%と過半数を占めていたのに対して、教職員は「(1) 学校が用意する給食と家庭からの持参弁当が選べる現在の方式」が良いと考えている。また、地域の回答は(1)(3)の方式どちらも4割以上となっている。
- ・ 「(2) 持参弁当のみ」を好ましいとする回答は、いずれも5%以下となっている。
- ・ 保護者からの自由回答では、全員喫食についての希望が多く回答されており、センター方式と小学校と同様の自校調理方式両方の要望が挙げられている。
- ・ 教職員が、給食と持参弁当が選べる方式を選択する理由の中には、現行の方式の方がアレルギー対応が行いやすい等の理由があることが考えられる。